

普及活動情勢報告（平成30年12月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

農業担い手育成センターに学べ！（成果報告会・現地視察）

・・・幡多地区環境制御技術研究会・・・



このほ場の管理は・・・

11月21日の農業担い手育成センター成果報告会に引き続き、22日に農業担い手育成センターの環境制御技術に関する現地研修を幡多地区環境制御技術研究会が実施しました。会員の参加は2日で8名と少なかったですが、現地研修では積極的な意見交換が行われ時間が足りないくらいでした。

研究会活動も4年が経過し、これからの活動は初級者から上級者までの対象者によって内容に変化を付け、全体のレベルアップを図りたいと考えています。

農業改良普及課は、幡多地区環境制御技術研究会の活動支援を積極的に行っていきます。

小筑紫小学校出前授業・・・宿毛4Hクラブ・・・



オクラの花はどれでしょう？

11月22日、宿毛4Hクラブが小筑紫小学校の1、2年生20名を対象としてオクラの栽培についての出前授業を行いました。農業改良普及課は、資料の作成支援や当日の進行補助を行いました。

クラブ員は、オクラの育て方やオクラの害虫について説明を行い、栽培の大変さや農業の魅力について教えていました。子どもたちはオクラに関するクイズなどに対しても反応が良く、農業に対する興味が高まった様子でした。

農業改良普及課は、今後も宿毛4Hクラブの行う食育活動への支援を行っていきます。

二宮保育園の園児とのジャガイモ収穫！・・・宿毛4Hクラブ・・・



大きいお芋が見つかったね

11月27日、宿毛4Hクラブは二宮保育園の園児17名と一緒に、9月に定植したジャガイモを収穫しました。

クラブ員からは、ジャガイモの掘り取り方について説明を行い、園児たちと一緒に収穫を行いました。園児たちは泥だらけになりながら袋いっぱいジャガイモを詰めていました。

農業改良普及課は、毎年恒例となっている子どもたちとのジャガイモ定植、収穫を今後も続けていくよう、宿毛4Hクラブの活動支援を行っていきます。

環境測定データを使いこなそう！・・・JA高知はた大方支所園芸部キュウリ部会勉強会・・・



現在の湿度は・・・

11月28日、若手と本年度環境制御機器を導入したキュウリ生産者を対象に、測定データの活用の仕方をテーマとした勉強会を開催し、22名の参加がありました。

農業改良普及課は導入農家のハウスのリアルタイムのデータを見ながら、ハウス内環境を確認し温湿度管理を行うことで、病害発生抑制につながることを説明しました。参加者からは、具体的な数字の意味などについての質問があり、何げなく見ていたデータに関心を持った様子です。

農業改良普及課は、引き続き環境制御技術活用をサポートし、生産者の増収を支援します。

幡多地区イチゴ生産者交流会

・・・JA高知はたイチゴ部会・・・



12月4日、JA高知はた管内のイチゴ生産者及び関係機関25名が参加し、現地3ほ場での現地検討会と研修会を行いました。

農業改良普及課からは、宿毛での炭酸ガス実証ほの結果と他県での事例、病虫害防除技術の紹介を行いました。また、産地・流通支援課澁谷専門技術員より、育苗期における炭疽病の防除対策について説明を行いました。今年度は夏季の高温や炭疽病により苗が不足する生産者もあり、対策について熱心に聞いていました。

農業改良普及課は、まとまりのあるイチゴ産地を目指して、JA高知はた支所間で交流できるよう支援していきます。

水稻いもち病講習会

・・・JA高知はた三崎支所水稻部会・・・



11月21日、JA高知はた三崎支所にて水稻いもち病講習会を開催し、生産者7名が出席しました。

今年は台風・悪天候の影響でいもち病の発生が多く、幡多農業振興センター管内では特に飼料用米で大きな被害を出しました。農業改良普及課からは管内のいもち病発生状況や今年の気象条件など説明し、次年度に向けた栽培管理対策を紹介しました。生産者からは農薬の効果的な使用方法などについて質疑がありました。

農業改良普及課では今後も、水稻の生産振興を図り、安定生産・増収に向けて支援していきます。

キュウリのさらなる増収を目指して・・・JA高知はた三崎支所キュウリ部会・・・



ハウス内の理想環境とは？

11月20日、JA高知はた三崎支所で環境制御技術の勉強会を開催し、生産者5名が出席しました。

農業改良普及課からはハウス内の温湿度管理や測定データの活用方法、また少量多頻度かん水管理について情報提供しました。参加者からは、「キュウリの節間が伸びるのは温湿度が高いのが原因か？」といった質問があり、キュウリの草勢とハウス内温湿度管理に関心を持った様子でした。

農業改良普及課は今後もこのような勉強会を開催し、環境制御技術の普及・推進を図っていきます。

環境制御機器を知ろう！メーカー機器説明会の開催・・・JA高知はた・・・



12月12日、四万十市のJA高知はた本所で平成31年度環境制御技術普及促進事業を推進するための「メーカー機器説明会」が開催され、生産者10名、関係機関24名の計34名が参加しました。

メーカー7社から環境測定機器、炭酸ガス発生装置、日射比例装置といった機器類の説明があり、特にクラウドを利用したモニタリング機器の説明が多く、現場での需要が高まっていると感じました。また、生産者からは、「様々な環境制御機器があることが知った。炭酸ガス発生装置の導入を検討したい。」との声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も説明会や現地検討会を開催し、生産者が環境制御機器類に触れる機会を設け、収量向上に向けた情報提供をしていきます。

品質向上にむけて・・・JA高知はた宿毛支所いちご部会・・・



12月11日、宿毛支所管内いちご生産者8名が参加し、3戸を巡回しての現地検討会と、出荷規格を確認する目慣らし会が開催されました。

現地検討会では、ハダニ防除などについて、生産者間で活発な意見交換が行われました。農業改良普及課からは年内～厳寒期の管理についての説明を行いました。

目慣らし会では、当日が出荷始めということもあり、実際の出荷物や、選果・選別規格表を確認したほか、市場から佐賀県で開発された新品種の「いちごさん」についての情報提供がありました。

農業改良普及課は、今後も定期的に現地検討会を開催し、時期毎の栽培管理方法などについての情報提供を行います。

災害復興支援

・・・ J A 高知はた・・・



復興のために・・・

11月26日、27日の2日間、JA高知はた職員、市役所、地域の生産者とともに7月豪雨で被災した宇須々木地区での復旧支援活動を行いました。

2日間でのべ120人が参加し、園地内に流入した土砂や岩を園地外へ撤去、堤防への積み直しを行ったことで、重機が入ることのできない箇所での復旧が進みました。

被災した生産者からは「自分たちだけではどうしようもなく、多くの人が手伝いにきてくれてありがたい。少しずつ復旧していきたい。」との声がありました。

農業改良普及課では、今後もJAや市町村役場、生産者と協力し、被災した地域への支援を継続します。

進めよう集落営農！

・・・ 上長谷集落営農組合設立総会・・・



12月2日、三原村上長谷集会所にて、生産者、地域住民、関係者合わせて25名が出席し、「上長谷集落営農組合」の設立総会が開催されました。

組合員数は28名で、集落のほとんどの生産者が参加しており、将来的には地域の農地集積を行い組織で農地を守っていく計画です。

初年度は、飼料用米1haの協業経営と防除作業の受託を行い、徐々に活動を拡大していく予定です。

農業改良普及課では、今後、組織の運営や施設・機械の計画的な導入などの支援を行っていきます。

宿毛市で3番目の集落営農法人が設立

・・・ (農) 平田の百姓屋設立総会・・・



12月1日、宿毛市平田集落において、生産者、関係者合わせて18名が出席し、「(農)平田の百姓屋」の設立総会が開催されました。

組合員数14名、代表理事には施設園芸を営む地域の若手生産者が就任しました。平成31年度は約8haの農地を集積し、水稻中心で経営を開始して、計画的に農地集積、機械導入をする計画となっています。

農業改良普及課では、法人の経営安定に向けて、栽培から経営面全般への支援を行っていきます。

幡多農業高校での出前授業

・・・幡多ブロック青年農業士連絡協議会・・・



農業のやりがいは？

11月27日、青年農業士が幡多農業高校園芸システム科1年生38名を対象に、出前授業を行いました。

授業では、青年農業士が生徒にクイズで問いかけながら、農業のやりがいや強み、経営の特徴を紹介しました。

生徒からは、「農業を始めたきっかけは？」「今後挑戦していきたいことは何ですか？」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も農業高校と連携し、農業への関心が高まり、将来の新規就農者が育つようように取り組んでいきます。

エコな栽培をしていこう！

・・・JA高知はた大方支所露地部会総会・・・



11月28日、JA高知はた大方支所にて大方露地部会総会が開催され、9名の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、視察報告やオクラで行ったソルゴーを用いて障壁作物の効果や土着天敵を利用した防除試験、エコシステム栽培について説明を行いました。オクラ以外でも取り組める技術であることから参加者に理解が深まった様子でした。また「生産工程管理チェック表など今一度部会員に説明してもらいたい」といった声も聞かれ意識を高めることが出来ました。

農業改良普及課は、今後も部会活動を通じて技術の普及や安心安全な農産物生産の推進を図っていきます。

地産地消で地域を元気に！

・・・大月ふれあい市出品協議会員対象の剪定講習会・・・



12月17日、大月町ふれあいパークの農産物出品者を対象とした剪定講習会を開催し、13名の組合員が参加しました。

まず、大月町改善センターで座学を行い、剪定を上手に行うためには結果習性（どのような枝に良質の花をつけるか）を理解することが重要であることを説明しました。

その後、参加者の果樹園で柿の剪定実技指導を行いました。実技では、どのような芽が良い花を付けるか比較し、残す枝と切除する枝の見分け方や残す枝の量を切って実演しました。

農業改良普及課は、このような地産地消に取り組む生産者を支援するため、来年2月に再び同じメンバーを参集し、常緑果樹の剪定講習会を開催する予定です。